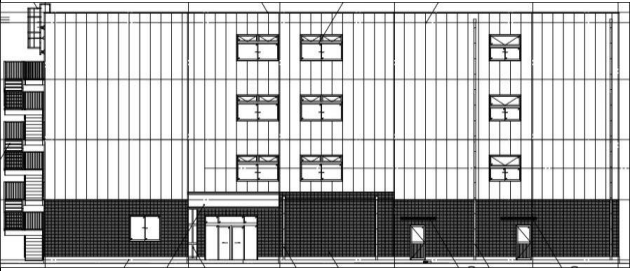
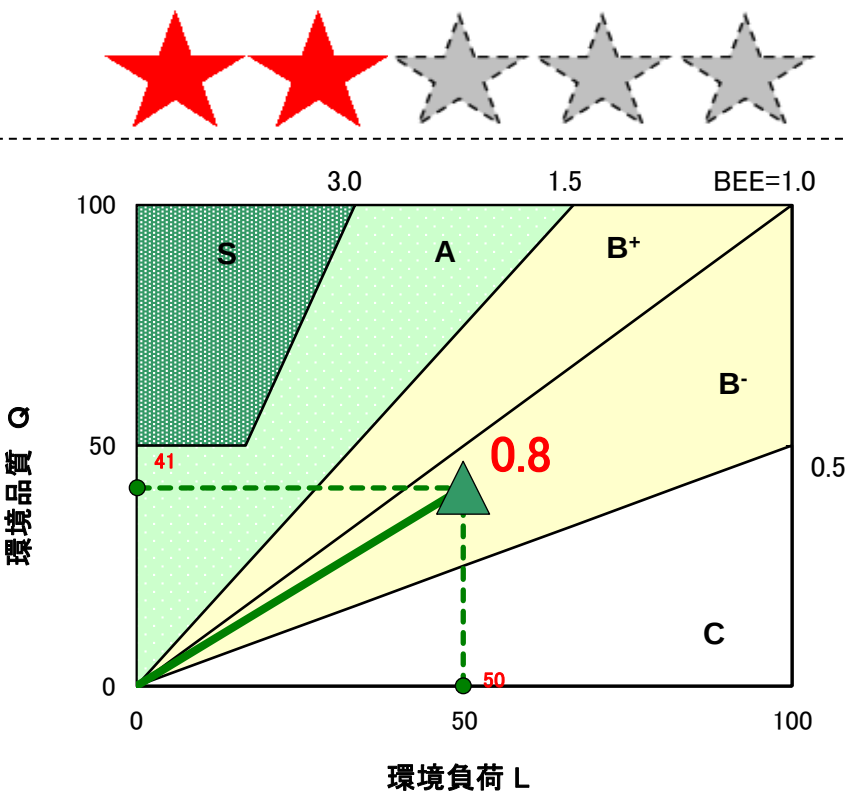


CASBEE®

熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	(仮称) 妙体寺 介護施設新築工事	階数	地上4F	
建設地	熊本県熊本市中央区妙体寺町6番4	構造	S造	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	70 人	
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年12月2日	
敷地面積	1,343 m ²	作成者	蔵原	
建築面積	633 m ²	確認日	2019年12月2日	
延床面積	2,242 m ²	確認者	上村	

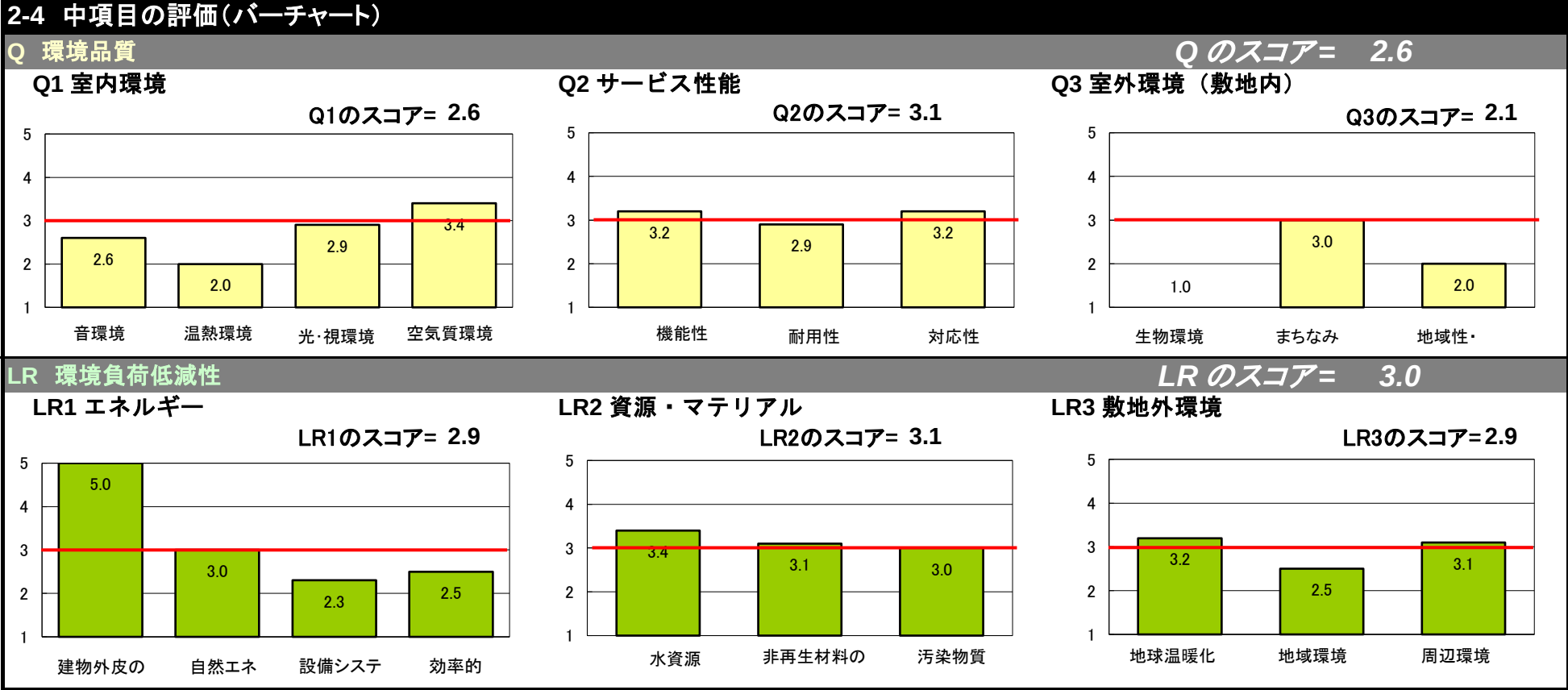
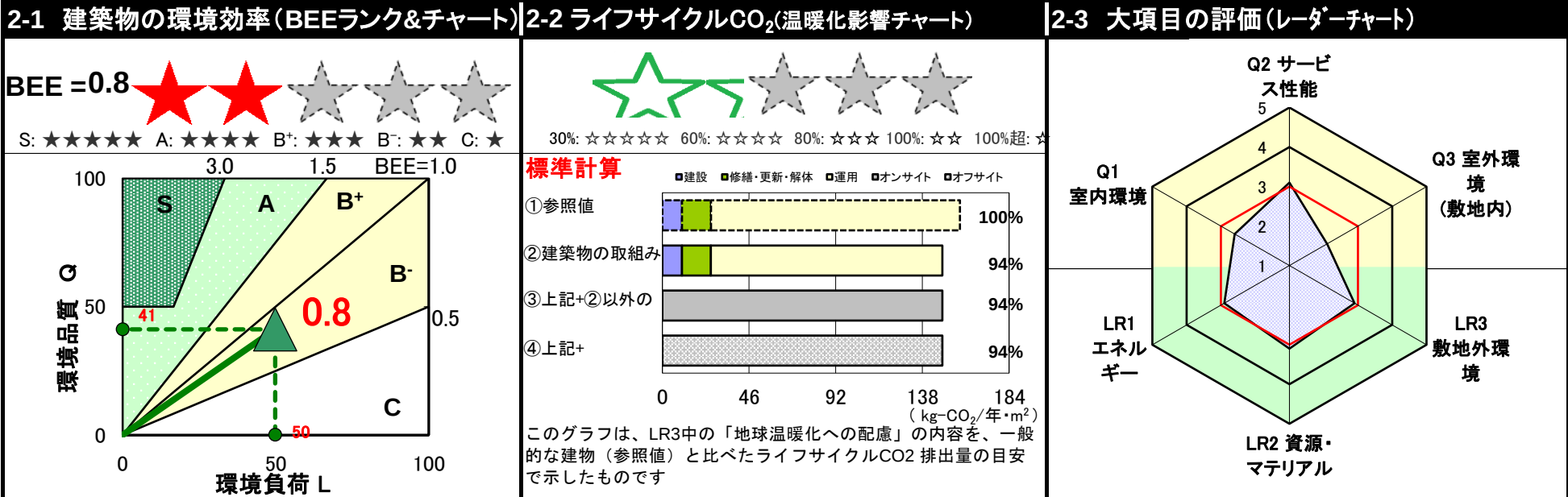
1 CASBEE評価結果																																																
■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)																																																
★★★★★ 			BEE = 0.8 ■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$ ■ 環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table> ■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値 (排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	判定値 (排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示	評価	判定値																																													
			BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																												
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																												
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																												
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																												
C	★	劣る	0.5未満	—																																												
判定値 (排出率)	ランク表示																																															
30%以下	☆☆☆☆☆																																															
30%超60%以下	☆☆☆☆																																															
60%超80%以下	☆☆☆																																															
80%超100%以下	☆☆																																															
100%超	☆																																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能 (ランク表示)			排出率																																													
☆☆☆☆☆			94%																																													

2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
  				75
		評価点	■ 熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		73.5	判定値 (評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		65.0	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		82.5	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現		78.0	60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称) 妙体寺 介護施設新築工事	階数	地上4F	
建設地	熊本県熊本市中央区妙体寺町6番4	構造	S造	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	70 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年12月2日	
敷地面積	1,343 m ²	作成者	蔵原	
建築面積	633 m ²	確認日	2019年12月2日	
延床面積	2,242 m ²	確認者	上村	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称) 妙体寺 介護施設新築工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.6	
Q1 室内環境					0.40		-	2.6	
1 音環境				2.6	0.15	2.6	1.00	2.6	
1.1	室内騒音レベル	40dB(A):相談室(診察室) 35dB(A):居室(病室)		3.0	0.40	4.0	0.40		
1.2	遮音			3.0	0.40	2.2	0.40		
1	開口部遮音性能			3.0	0.40	3.0	0.30		
2	界壁遮音性能			3.0	0.60	3.0	0.30		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	1.0	0.20		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	1.0	0.20		
1.3	吸音			1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				2.0	0.35	2.0	1.00	2.0	
2.1	室温制御			3.0	0.50	3.0	0.50		
1	室温			3.0	0.38	3.0	0.57		
2	外皮性能			3.0	0.25	3.0	0.43		
3	ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-		
2.2	湿度制御			1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3	空調方式			1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				2.7	0.25	3.3	1.00	2.9	
3.1	昼光利用			3.0	0.30	4.2	0.30		
1	昼光率	昼光率:2.59%(居室8)		-	-	5.0	0.60		
2	方位別開口			-	-	-	-		
3	昼光利用設備			3.0	1.00	3.0	0.40		
3.2	グレア対策			2.0	0.30	3.0	0.30		
1	昼光制御			2.0	1.00	3.0	1.00		
3.3	照度			3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4	照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.4	0.25	3.6	1.00	3.4	
4.1	発生源対策			3.0	0.50	4.0	0.63		
1	化学汚染物質	F☆☆☆☆の積極的な採用		3.0	1.00	4.0	1.00		
4.2	換気			3.0	0.30	3.0	0.38		
1	換気量			3.0	0.50	3.0	0.33		
2	自然換気性能			-	-	3.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3	運用管理			5.0	0.20	-	-		
1	CO ₂ の監視			-	-	-	-		
2	喫煙の制御	建物全体が禁煙 喫煙室なし		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性				2.8	0.40	4.0	1.00	3.2	
1.1	機能性・使いやすさ			4.0	0.40	5.0	0.60		
1	広さ・収納性	個室10㎡以上(居室:13.01㎡)		-	-	5.0	1.00		
2	高度情報通信設備対応			-	-	-	-		
3	バリアフリー計画	建築物移動等円滑化誘導基準チェックリストを満たす		4.0	1.00	-	-		
1.2	心理性・快適性			1.0	0.30	2.5	0.40		
1	広さ感・景観	天井高:2.5mm以上(2.6m)		-	-	4.0	0.50		
2	リフレッシュスペース			-	-	-	-		
3	内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3	維持管理			3.0	0.30	-	-		
1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-		
2	維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9	
2.1	耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-		
1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-		
2	免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-		
2.2	部品・部材の耐用年数			3.2	0.30	-	-		
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	主要途3種類のうち2種類以上にBを使用しEは不使用		5.0	0.20	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		
2.4	信頼性			2.2	0.20	-	-		
1	空調・換気設備			1.0	0.20	-	-		
2	給排水・衛生設備			2.0	0.20	-	-		
3	電気設備			3.0	0.20	-	-		
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-		
5	通信・情報設備			2.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.2	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	3.4	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	(共用部)比率:0.22 (住居部)比率:0.21	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材、仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる。(LGS下地)	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる。(LGS下地)	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.76	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI]/[BEI _m] = 0.93	2.3	0.50	-	-	2.3
4 効率的運用			2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ、節水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	パーテイクルボード	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能 (LGS下地)	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		省エネ設備の導入	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの一部を満たす、 広告物照明の取扱いの過半を満足	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

周囲との景観の調和や、街並みへの影響を考慮し、建物の高さ・色を配慮した計画とした。

Q1 室内環境

内装にはF☆☆☆☆建材を使用し、空気質環境に配慮した。

Q2 サービス性能

耐力壁の無い自由度の高い空間とすることで、建物の更新性を高めた。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地内に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。

LR1 エネルギー

建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化を心掛けた。

LR2 資源・マテリアル

躯体と仕上げ材を容易に分別可能な設計とし、リサイクルの促進を図った。

LR3 敷地外環境

分別回収を推進するために室内や室外にストックスペースを計画した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称) 妙体寺 介護施設新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		75
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				73.5	0.40	29.40
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.3	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	4.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				78	0.20	15.60
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数